

# 介護福祉学科

## 1 教育目的

介護に必要な知識、技術を教授するとともに、高い倫理観を有し、地域社会に貢献できる介護福祉士を育成する。

## 2 教育目標

- (1) 尊厳の保持や権利擁護の視点に基づき、良好な人間関係を形成する能力及び専門職業人としての基盤となる倫理観を養う。
- (2) さまざまな生活背景や多様な価値観をもつ対象者を、生活者としてとらえ、身体的・心理的・社会的側面から全人的に理解する能力を養う。
- (3) 障害・認知症あるいは介護予防・終末期など様々な状態・状況にある対象者に対して、心身の状況に応じた日常生活や社会生活の支援ができる基礎的能力を養う。
- (4) 対象者の生活の場や家族形態に応じた支援、制度やサービスなどの社会資源の活用、災害発生時での対応など、多様な環境や状況に対応した介護を実践する基礎的能力を養う。
- (5) 対象者や家族等の持つ介護ニーズを総合的に把握し、エンパワメントを重視した介護過程の展開ができる能力を養う。
- (6) 他職種の役割や専門性について理解を深め、チームの一員としての役割を自覚し、多職種協働によるチームケアを実践できる基礎的能力を養う。
- (7) 専門職業人として、最新知識・技術を自ら学び続け、地域や社会のニーズに対応できる基礎的能力を養う。

### 3 介護教育における教育体系及び考え方

介護が実践の技術であるという性格を踏まえ、以下に挙げる4領域を編成している。

#### 人間と社会

- (1) 福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を養う。
- (2) 人間関係の形成やチームで働く力を養うための、コミュニケーションやチームマネジメントの基礎的な知識を身につける。
- (3) 対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につける。
- (4) 介護実践に必要な知識という観点から、社会保障の制度、施策についての基礎的な知識を身につける。
- (5) 介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養う。

上記を踏まえ、「人間の尊厳と自立」「人間関係とコミュニケーション」「チームマネジメント」「社会の理解」「レクリエーション」「国語表現」「情報処理演習」の科目を実施する。

#### 介護

- (1) 介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。
- (2) 介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を習得する。
- (3) 本人、家族等との関係性の構築やチームケアを実践するための、コミュニケーションの基礎的な知識・技術を習得する。
- (4) 対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護過程を展開できる能力を養う。
- (5) 介護実践における安全を管理するための基礎的な知識・技術を習得する。
- (6) 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養う。

「実習」について

- (1) 介護福祉士の役割理解を深めるための体験学習とする。
- (2) 専門職としての実践力を習得するための体験学習とする。
- (3) 充実した実習を行うために介護現場の協力を要請し、実践力を身につける。

上記を踏まえ、「介護の基本」「コミュニケーション技術」「生活支援技術」「介護過程」「介護総合演習」「介護実習」の授業を実施する。

#### こころとからだのしくみ

- (1) 介護実践に必要な根拠となる、心身の構造や機能及び発達段階とその課題について理解し、対象者の生活を支援するという観点から、身体的、心理的、社会的側面を統合的にとらえるための知識を身につける。
- (2) 認知症や障害のある人の生活を支えるという視点から、医療職と連携し支援を行うための、心身の機能及び関連する障害や疾病の基礎的な知識を身につける。
- (3) 認知症や障害のある人の心身の機能が生活に及ぼす影響について理解し、本人と家族が地域で自立した生活を継続するために必要とされる心理・社会的な支援について基礎的な知識を身につける。

上記を踏まえ、「発達と老化の理解」「認知症の理解」「障害の理解」「こころとからだのしくみ」の授業を実施する。

#### 医療的ケア

医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるという観点から、医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を習得する。

上記を踏まえ、「医療的ケア」の授業を実施する。